

夏期講習 高1・高2生 古文 レベルチェック

〔解答時間二〇分、辞書・参考書は使用しないこと〕

1 傍線部の用言の活用の種類、終止形、活用形を書きなさい。

(例：八四「言ふ」連体形)

- ①今は目にも見たまへ。
- ②空の雲あはれにたなびけり。
- ③良頼の兵衛督と申しし人の家の前を過ぐれば、
- ④かならず来べき人のもとに車をやりて待つに、
- ⑤撰集のあるべき由承り候ひしかば、
- ⑥つらくなり果てぬさきに離れなむ。

2 以下の傍線部の敬語の種類、敬意の方向を書きなさい。

- ①よその君達は「童長は便なき事をも奏してけるかな」と思ふ。
- ②むかし、惟喬の親王と申す親王おはしましけり。

3 以下の単語の古文単語としての意味を書きなさい。

- ①えく打消
- ②らうたし
- ③なくそ
- ④おぼす
- ⑤まかる
- ⑥頼む(マ四)
- ⑦つきづきし
- ⑧すさまじ

4 次の文章は『源氏物語』の一節で、浮舟という女性が、自身の半生を振り返り、出家をしたいという気持ちを訴えた部分である。よく読んで、後の問いに答えなさい。

「幼くはべりしほどより、ものをのみ思ふべきありさまにて、親なども『尼になしてや見まし』などなむ思ひのたまひし。まして、すこしもの思ひ知りて後は、A例の人さまならで、『後の世をBたに』とい思ふ心深かりしを、亡くなるべきほどのやうやう近くなりはべるにや、心地のいと弱くのみなりはべるを、なほCいかで」とて、うち泣きつつDのたまふ。

(1) 傍線部1～3の助動詞の意味をそれぞれ選択肢から選びなさい。

- 1
- 2
- 3

- ①反実仮想 ②推量 ③打消推量 ④ためらいの意志 ⑤過去
- ⑥完了 ⑦強意(確述) ⑧断定 ⑨使役 ⑩所在(存在)

(2) 太線部の主語を書きなさい。

あ い

(3) 波線部の単語の意味を書きなさい。

- A B
- C D